

## シラバス参照

科目名	公立文化施設論
配当年次	3年次
開講期間	後期
単位数	2
担当教員	土屋 正臣(ツチャ マサオミ)
期間・曜日・時限・教室	後期 月曜日 3時限 13-307

※	ミュージアムと現代社会
授業の目的・目標	<p>(1) 授業の概要 本講義は、公立文化施設の中でも特にミュージアム(博物館・美術館)を取り上げる。近年のミュージアムは資料の収集と保存、調査研究、展示といった基本的機能に加え、市民の自己啓発支援、生活における「第3の場所」としての役割、地域アイデンティティの確立、観光振興といった幅広い役割を担っている。こうしたミュージアムの社会的役割の拡大と地域社会との関係の変化について教員自身の公立文化施設における実務経験に基づきながら言及しつつ、文化によるまちづくりの今日的潮流を考えて行く。このことにより、総論レベルから実務レベルまでを射程に入れ、ミュージアムの実態に即した具体的な問題解決の方法を提示する能力の涵養を目指す。</p> <p>(2) 習得できる力 ・公立文化施設に関わる基礎的な理解が可能となる【知識・理解】 ・歴史や文化等、多領域にわたる知識や情報を組み合わせながら、公立文化施設の背景にある課題解決を目指すことができる【汎用的技能】 ・公立文化施設が抱える課題解決を通じて、社会の一員としての自覚を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる【態度・志向性】</p> <p>(3) 授業の到達目標 ・公立文化施設が抱える課題を歴史的な文脈を踏まえて思考できるようになる。 ・社会と文化の関係について独自の見解を述べるようになる。</p>
準備学習等の指示	各回授業の最後に提示する参考文献を次のセミナーの前までに読み込んでおくことが望ましい。
講義スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>公立文化施設とは何か—公立文化施設の概略について理解し、具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアム(博物館・美術館)とは何か 調査・収集・展示の意味を理解し、具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムの歴史(1) 見世物・博覧会 ミュージアムの前提となった見世物や博覧会について理解し、そこに含まれる具体的な課題解決の方法を提示できる能力を身につける。</li> <li>ミュージアムの歴史(2) デパート・史跡公園・公立ミュージアム 多様なミュージアムのあり方についての知識を習得し、そこに含まれる具体的な課題解決の方法を提示できる能力を身につける。</li> <li>地域コミュニティとミュージアム 地域再生・観光資源・記憶装置・市民参加 地域コミュニティとミュージアムの関わりについて理解し、そこに含まれる具体的な課題解決の方法を提示できる能力を身につける。</li> <li>公立ミュージアムと表現の自由 富山県立近代美術館事件・パツタもん事件 公立ミュージアムが抱える現代的課題とその背景について理解し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムに求められる新たな役割 今日のミュージアムに求められる役割について理解し、具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアム政策の不在 ミュージアムを取り巻く制度や政策の不在について理解し、具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>文化の価値とミュージアム 文化経済、社会包摂との関係からミュージアムの役割について理解し、具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムの管理・運営体制 指定管理者制度、NPM等のミュージアムを取り巻く社会環境について理解し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>誰にとつてのミュージアムか ミュージアムと地域社会の関係について考察し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムの新しい課題 ミュージアムにおける記憶のアーカイブ化と継承について理解し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムと資金調達 ミュージアムの自立・安定的な運営について理解し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>ミュージアムにおける「来館者中心主義」 来館者中心主義の運営における課題を理解し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> <li>まとめ 公立文化施設論全体をふり返り、公立文化施設と地域社会との関係について理解し、そこに含まれる具体的な問題解決の方法を提示する能力を身につける。</li> </ol>
教科書	使用しない。
参考文献	河島伸子・小林真理・土屋正臣(2020)『新時代のミュージアム:変わる文化政策と新たな期待』ミネルヴァ書房
授業の方法	講義形式
成績評価方法	期末レポート(50%)、リアクションペーパー(40%)、授業での発言(10%)
オフィスアワー	授業開始時に指示する。

居室	4号館4階418号室
ホームページ	
その他特記事項	実際の施設を見学する場合もある。
添付ファイル	